

コミュニティ心理学からみた、  
学校におけるスクール・カウンセラー(SC)の役割とあり方  
- スクール・ソーシャルワーカー(SSW)との関連で -

話題提供者：光岡征夫(山梨英和大学)

峯本耕治(弁護士)

小林正稔(神奈川県立保健福祉大学)

司会：光岡征夫(元 山梨英和大学)

指定討論者：藤倉眞一(宮城県立名取北高等学校 校長)

吉武清實(東北大学)

企画趣旨

皆様もご存じのように、平成20年度から各都道府県教育委員会において、これまでのSC事業に加えて、新しい学校サポートシステムであるSSW事業が始まったが、SSWへの教育現場での反応や期待はとても大きいものがある。

このシンポジウムのねらいは、SSWとの関連において、平成8年度から広がってきて歴史も重ねているSCの役割とあり方について、コミュニティ心理学の立場から、あらためて理論的にも実際的にも検討し、その役割とあり方を明確にし、学校教育現場での混乱を防いで両者の協力・協調の方向を検討し、今後の方向を探ることにある。

そのために、学校教育臨床やSSWの教育・研修の現場で活動してこられた先生方に、その経験やその考え方を話していただき、それらをコメンテータの先生方に、SCやSSWを活用する学校現場の立場から、また、コミュニティ心理学的立場からご検討いただき、まとめていただく場を作りたいと考えている。

司会・話題提供者：光岡征夫(元 山梨英和大学、山梨県臨床心理士会学校関係理事、山梨県SC、元東京都教育研究所教育相談員)

最初に、簡単にSCやSSWが創設されてきた時代背景や考え方について述べてみたい。またSCの考える相談活動、筆者が実際に行っている学校臨床活動(中学校)について、その内容や対象、方法や考え方等について語ってみたい。またその相談にあたって感じている問題や限界、SSWへの期待等についても触れてみたい。

話題提供者：峯本耕治（弁護士、大阪府・滋賀県 SSW スーパーバイザー、大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員、教師・親・子どものための（TPC）教育サポート研究会理事長）

学校教育に関連して、子どもの最善の利益を護る立場から弁護士としてどのような活動を開始しているのか、また、SSW 事業のスーパーバイザーとして、どのような取り組みを行い、ケース会議参加・スーパーバイズ・研修等にあたっては、具体的にどのような点に留意しているのか、その中で見えてきた SSW と SC の連携のあり方と課題、SC への期待等について話してみたい。

話題提供者：小林正稔（神奈川県立保健福祉大学、臨床心理士、NPO 神奈川県スクールカウンセラー協会監事、神奈川県教育委員会 SSW 運営委員会委員、横浜市教育委員会スクールスーパーバイザー、横須賀市児童相談所 SV）

これまで長く神奈川県で地域の児童相談所・児童養護活動にかかわり、更には臨床心理士としても、SC のコーディネータ、スクールスーパーバイザーとして学校教育臨床にかかわり、同時に教育・福祉行政全般に、これまでかかわって、また現に関与している立場から、地域社会や学校システムでの SC 並びに SSW のあり方について、これまでの歴史や地域での現状に触れながら、今後の方向などについて検討してみたい。

指定討論者：藤倉眞一（宮城県立名取北高等学校 校長）

学校現場で、SC 活用を含む相談体制のあり方を模索してきた立場から、これまでの SC 活用事業で見えてきている SC という職種の利点と課題を整理しつつ、今後の SC 等の外部性をもつ専門職と教員のコラボレーションのあるべき姿について、学校の相談体制の充実化という視点から、話題提供の方々の話も踏まえ、討論の一助となる事を願って私見を述べてみたい。

指定討論者：吉武清實（東北大学高等教育開発推進センター教授、学生相談所カウンセラー）

諸先生方のお話から、SC のあるべき姿、とくに SSW との役割分担と連携のあり方について、コミュニティ心理学的立場からのまとめ、検討、考察を行う。